



和歌浦だより

令和8年2月号

和歌山市立和歌浦小学校



「ありがとう」の思いを形にする2月に

暦の上では春が近づいているとはいえ、朝夕の冷え込みは依然として厳しく、身の引き締まるような寒さが続いております。そんな中、子供たちが届けてくれる「おはようございます！」という元気な声は、冷たい空気を一瞬で温めてくれる、何よりのエネルギー源です。白い息を弾ませながら見せてくれる輝くような笑顔。子供たちの元気な顔を見ていると、私たち教職員も「さあ、今日も一日頑張ろう」と背筋が伸びる思いがいたします。

この子供たちの健やかな姿の背景には、毎朝、温かい言葉で励ましながら玄関から送り出してくださる保護者の皆様の存在があります。また、凍えるような寒さの中でも、通学路の要所で子供たちの安全を優しく見守り、声をかけてくださる地域の皆様の支えがあります。皆様の深い愛情と献身的な活動が、子供たちの安心感と笑顔の土台となっていることを、日々強く実感しております。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

今月は、子供たちの心が大きく動き、成長を実感する刺激の多いひと月となります。自らの身を守る意識を高める不審者対応訓練を実施するほか、日頃の学習成果や成長を直接ご覧いただく参観・懇談、図工の作品展を予定しております。一つひとつの活動を通じて、自信と学びを積み重ねてほしいと願っています。

そして27日には「卒業を祝う集会」が開催されます。今回の集会において、私たちが大切にしたいのは「6年生を幸せな気持ちにすること」です。下級生たちは今、6年生の喜び顔を思い浮かべながら、自分たちの感謝をどう形にするか、心を込めて工夫を凝らしています。自分以外大切な誰かのために一生懸命になる経験は、子供たちの心をより豊かに、優しく成長させてくれるはずです。それに応える6年生にも、最上級生としての誇りを胸に、後輩たちの記憶に深く刻まれるような「憧れの姿」を見せてくれることを期待しています。送る側、送られる側、それぞれの「ありがとう」が交差し、全校が温かな幸せに包まれるような、素敵な集会になることを今から楽しみにしております。

厳しい寒さはもうしばらく続きそうですが、子供たちの熱い思いを大切に育みながら、職員一同、一丸となって支援してまいります。

【教頭 射場 忍】

【転居・転出についてのお願い】

昨年末に転居（転出）の有無を確認させていただいたところですが、その後、今年に入ってから転居が正式に決まったり、検討を始められたりした場合は、事務手続きの都合上、速やかに担任または学校までご連絡くださるようお願いいたします。

【避難訓練（不審者訓練）】

2月13日（金）に不審者侵入を想定した避難訓練を実施します。児童は「騒がず静かに、指示に従い迅速に行動すること」を重点的に学び、教職員は「毅然とした態度と冷静な判断による安全誘導」の徹底を図ります。自他の身を守るための実践的な訓練を通じ、学校全体の防犯意識を高めます。学校全体で真剣に取り組み、万が一の事態に備えた安全確保に努めます。

【2月の行事予定】



1日	日	家庭科作品展(中央コミュニティセンター)
4日	水	5・6年口座振替日
5日	木	新入見入学説明会
6日	金	スクールカウンセラー来校
7日	土	県科学作品展(フォルテツマ)
8日	日	県科学作品展(フォルテツマ)
10日	火	5・6年防犯教室 全学年音楽鑑賞(県警音楽隊)
11日	水	建国記念の日
12日	木	授業参観・懇談会・校内作品展
13日	金	避難訓練(不審者対応)
14日	土	子どもセンター(バレー) 後期学校美術展(県民文化会館) 少年のつどい
15日	日	後期学校美術展(県民文化会館)
16日	月	ALT授業
18日	水	クラブ
20日	金	スクールカウンセラー来校 3年干潟学習
21日	土	子どもセンター(タグラグビー)
23日	月	天皇誕生日
24日	火	6年お別れ遠足
25日	水	1年片男波こども園と交流
27日	金	卒業を祝う集会
28日	土	子どもセンター(茶道)

3月の主な行事予定

- 3月16日(月) お別れ式
- 3月17日(火) 卒業式
- 3月24日(火) 終業式
- 3月31日(火) 離任式

【子どもセンター(プラ板・提灯づくり)】

ステキなキーホルダー
できたよ!



わかうら見守り隊の皆様方へ



いつも本校の児童を見守ってくださり
ありがとうございます。

2月の下校時刻をお知らせいたします。

2月 4日(水) 全学年 13時20分頃

2月18日(水) 1~4年生は13時20分頃
5・6年生は14時20分頃

2月25日(水) 全学年 13時20分頃

下校となります。よろしくお願いいたします。

【防災出前授業】

4年生の総合的な学習の時間に、日本赤十字社の北川先生をお招きして防災学習を行いました。1学期には災害派遣の役割や非常持ち出しグッズについて学びましたが、2回目となる今回は、体育館でより実践的な設営体験に挑戦しました。



今回取り組んだのは、実際の避難所で活用される段ボールベッドと間仕切りの組み立てです。子供たちは班ごとに声を掛け合い、驚くほど手際よく作業を進めていました。完成したベッドにみんなで寝転がって150kgまで耐えられるという頑丈さを肌で感じたり、実際に寝袋に入って寝心地を確かめたりと、不自由な避難所生活の中でも工夫次第で環境を整えられることを学びました。



南海トラフ地震への備えが急がれる中、こうした実感を伴う体験は非常に重要です。万が一、大きな災害が起こってしまったとき、この学習を思い出して、子供たちが避難所の運営を支え、周囲をリードする「避難率先者」のような存在になってくれることを期待しています。